

令和7年度
愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム
(履修証明プログラム)
募集要項

募集期間：

令和7年4月23日(水)～令和7年7月30日(水)

プログラム開講期間：

令和7年8月23日(土)～令和8年2月14日(土)

令和7年4月22日

主 催

愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター

1. 名称

(1) プログラムの名称

「愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム」

(2) 付与される称号の名称

「愛媛大学柑橘産業イノベーター」

2. プログラムの概要

(1) 目的

本プログラムは、柑橘農業および柑橘の加工、流通を含む幅広い関連産業の振興に資する能力を有する人材を育成することを目的としています。

その目標を達成するために、本プログラムは、3つのステージから構成されています。

具体的には【ステージⅠ】では「柑橘産業の全体像と、柑橘産業を取り巻く社会情勢と発展性」を学びます。【ステージⅡ】では「柑橘産業を営み、発展させるための基礎的な科学的知識」を習得します。そして、【ステージⅢ】では、「柑橘産業の先端技術状況と就職・進学・経済支援に関わる社会制度」を理解し、柑橘産業の将来を担うイノベーション人材になることを目指していただきます。

(2) 開講期間

令和7年8月～令和8年2月

(3) 開講形式

第1回と最終回の愛媛大学農学部の講義は、対面とリアルタイムでのオンライン遠隔方式の併用で開講します。9月と2月の愛媛県みかん研究所の栽培実習は、対面で実施します。すべての講義について、オンデマンド配信をいたします。

対面実施への希望者が少ない場合は、対面開講を実施しない場合があります。

(4) 開講日・講義時間

67. 5時間の講義とフィールドワークで構成されており、土曜日の午前・午後
に開講します。具体的な開講予定日は、次のとおりです。

令和7年 8月23日、8月30日、9月6日、9月13日、9月20日、
9月27日、10月4日、10月11日、10月18日、
10月25日、令和8年1月31日、2月7日、2月14日

講義時間は、1時限目) 9:00～10:30、2時限目) 10:50～12:20、
3時限目) 13:30～15:00、4時限目) 15:20～16:50 です。
栽培実習およびフィールドワーク(1)は対面で実施します。

9月と2月のみかん研究所での開催日は、愛媛大学農学部から送迎車両(無料)が運行されます。また、直接現地で集合していただいても結構です。

(5) プログラムの内容及び総時間数

プログラムは、ステージⅠ、ステージⅡ、ステージⅢから構成されており、その内容は以下のとおりです。ただし、講義題目、担当、実施時間については、若干の変更が行われる可能性があります。

オンデマンドで配信される講義の一部については、昨年度までに本プログラムのZoomオンライン遠隔方式で行われた録画を使用することがあります。

令和7年度 柑橘産業人材育成プログラム

開講月日	曜日	時限	講義題目	担当
第1ステージ: 柑橘産業の全体像と、柑橘産業を取り巻く社会情勢と発展性を理解する				
8月23日 (農学部+ オンライン)	土	2	プログラムの目的と全体像	柑橘産業イノベーションセンター
	土	3	愛媛県の柑橘産業の歴史、特徴、発展性	愛媛県庁
	土	4		
10月18日 (オンデマンド 配信開始)	土	3	日本の農業・農政の動向と果樹産業(総括編)	農林水産省中国四国農政局
	土	4	日本の農業・農政の動向と果樹産業(柑橘編)	
第2ステージ: 柑橘産業を営み発展させるための基礎的な科学知識を習得する				
8月30日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	柑橘の分類と育種・繁殖	羽生 剛 准教授
	土	3-4		
9月6日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	柑橘の生理、生態と栽培方法	
	土	3-4		
9月20日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	土壌の物理性、化学性と水管理	治多 伸介 教授 久米 崇 准教授
	土	3	環境配慮、資源再利用の技術	治多 伸介 教授
	土	4	柑橘農地の災害による崩壊メカニズムと対策	小林 範之 教授
9月27日 (オンデマンド 配信開始)	土	1	柑橘園地整備における計画と設計	武山 絵美 教授(京都大学)
	土	2	土壌生物の働きと利用	上野 秀人 教授
	土	3	施肥・土壌管理技術	
	土	4	植物養分の科学と栄養診断	
10月4日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	害虫と防除	吉富 博之 教授
	土	3	病害と対策	八丈野 孝 教授
10月11日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	柑橘農地での農作業と農業機械	有馬 誠一 教授 上加 裕子 准教授
	土	3	柑橘の選果と貯蔵	高橋 憲子 准教授
	土	4	収穫後の柑橘の腐敗とその防除方法	森松 和也 講師
10月18日 (オンデマンド 配信開始)	土	1-2	柑橘の保健機能成分と機能性食品開発	菅原 卓也 教授
	土	1	食料・農業・農地問題の基礎	椿 真一 准教授
10月25日 (オンデマンド 配信開始)	土	2		松岡 淳 教授
	土	3	柑橘産業の経営戦略「愛媛県の果樹産地と農協」	板橋 衛 教授(現在 北海道大学教授)
	土	4	柑橘産業の販売戦略	山本 和博 教授
第3ステージ: 柑橘産業の先端技術状況と就職・進学・経済支援に関わる社会制度を理解する				
9月13日 (みかん 研究所)	土	1	柑橘の栽培実習(中晩柑の摘果)	井上 久雄 准教授
	土	2	柑橘の栽培実習(温州みかんの摘果)	
	土	3	柑橘農地、柑橘栽培、柑橘加工、柑橘流通などに関わる先端技術を学ぶフィールドワーク(1)	愛媛県みかん研究所
	土	4	柑橘の結実管理技術	井上 久雄 准教授
1月31日 (オンデマンド 配信開始)	土	1	柑橘農地、柑橘栽培、柑橘加工、柑橘流通などに関わる先端技術を学ぶフィールドワーク(2)	愛媛県八幡浜支局
	土	2		農研機構
2月7日 (みかん 研究所)	土	1	柑橘の栽培実習(中晩柑の剪定)	井上 久雄 准教授
	土	2	柑橘の栽培実習(温州みかんの剪定)	
	土	3	柑橘の枝梢管理技術	
2月14日 (農学部+ オンライン)	土	1-2	県、市、JA、愛媛大学などの支援制度	愛媛県、市町、JA、愛媛大学など

上記の表の「農学部+オンライン」は、農学部での対面開講の講義と、リアルタイムでのオンライン遠隔開講の講義の両方があることを示しています。「オンデマンド配信開始」は、対面での講義はなく、録画された講義のオンデマンド配信開始日を示しています。すべての講義について、オンデマンド配信をいたします。オンデマンド配信は、2月25日(水)で終了します。

(6) 実施主体

実施責任者：愛媛大学大学院農学研究科長

運営組織：愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター

3. 修了要件と修了証明

(1) 修了要件

本プログラムで開講される講義科目を全て履修（67.5時間）し、各講義で提示される課題（レポートなど）に全て合格すること。

(2) 修了証明

修了者には、学長名の「履修証明書」を交付するとともに「愛媛大学柑橘産業イノベーター」の名称を付与します。

4. 募集

(1) 応募資格

柑橘産業および関連産業に関心を持つ一般社会人で、以下の①ないし②の資格を有する方を広く募集します。例えば、1)将来的に柑橘産業及び関連産業に従事することを志している方、2)現在従事している仕事に役に立つ知識を得ることを目的とする方、3)柑橘産業に対する教養的な知識を高めたい方など、多様な受講生を受け入れます。

① 大学を卒業した者

② 柑橘産業イノベーションセンターにおいて、個別の資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

(2) 募集人数

30人

(3) 募集スケジュール

令和7年	4月23日(水)	募集開始
	7月30日(水)	募集締め切り
	8月1日(金)	受講者決定および通知
	8月4日(月)	受講手続き開始
	8月7日(木)	受講手続き締め切り
	8月23日(土)	プログラム開始

(4) 受講料

30,000円

※振込手数料は、各自でご負担ください。

※振込手続き書類は、受講者決定後に個別にお送りいたします。

※既納の受講料は、原則、返金いたしません。但し、万一、講座を開講できなくなった場合は、受講料を返金いたします。

※オンライン受講のための通信料は受講者負担となります。

(5) 提出書類

受講申請書（所定の様式）に必要事項を記入したもの（手書きでも、パソコンでの記入でも、どちらでも結構です。）

※申請書様式は下記URLからダウンロードできます。

<http://ciic-jinzai.agr.ehime-u.ac.jp>

(6) 応募に関する注意事項

- ①受講申請書の記入にあたっては、誤りのないように正確に記入してください。
- ②受講申請書の提出後は記載内容の変更は認めません。また受講申請書は返却いたしません。
- ③受講書類の不備や内容に確認の必要がある場合は、電話または電子メールにて問い合わせをさせていただくことがあります。
- ④応募後に住所等の変更があった場合は、速やかに、以下の提出先に連絡してください。

(7) 受講申請書の提出方法

令和7年7月30日(水)までに「必着」で郵送していただくか、電子メールに添付してお送りください。郵送の場合は、封筒の表面の左隅に「愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム 応募書類在中」と朱書きしてください。

(8) 提出先・問い合わせ先

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター

電話：089-946-9803

E-mail：ciic-jinzai@agr.ehime-u.ac.jp

5. 受講者選考

(1) 受講者選考の方法

本プログラムで学ぶために必要な資質を評価・審査する目的で、応募書類により、受講の可否を決定します。

(2) 受講決定の通知

令和7年8月1日(金)までに、本人あてに受講の可否を電子メールないしは、郵送で通知するとともに、受講者については受講案内などの情報をお伝えします。なお、電話による可否の問い合わせには応じません。

6. 受講手続

受講が可となった方は、受講案内に従い、令和7年8月4日(月)から令和7年8月7日(木)までに、受講料30,000円を払い込んでください。

7. 個人情報の取扱い

提出された申請書等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンターが責任を持って管理します。

受講終了後は、この個人情報を利用することはなく、第三者に開示することはありません。